

事務事業マネジメントシート（20年度実績と21年度計画）

21年度予算編成後平成 21 年 3 月 26 日作成
20年度決算把握後平成 21 年 10 月 5 日作成

事務事業名		歯周疾患検診		<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり	所属部	健康福祉部	課長名	中山 輝一郎
	施策	15	健康づくりの推進	所属課	健康づくり推進課	担当者名	東 亜紀
	基本事業	44	病気の早期発見	所属班	健康推進班	(内線)	2167
				法令根拠	健康増進法		

予算科目	会計	1	款	4	項	1	目	4	事業連番	10368	<input type="checkbox"/> 20年度で終了 <input type="checkbox"/> 21年度から開始	成果優先度評価結果	8
												コスト削減優先度評価結果	6

事業期間 単年度のみ 単年度繰返(開始年度 平成元 年度) 期間限定複数年度 (~ 年度)

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】
 市内の歯科医院で歯科検診を受けることにより、むし歯や歯周疾患を予防する事業
 ①市内歯科医院と委託契約(H20年度:16医療機関、H21年度:14医療機関)直接医療機関へ予約し受診。受診の際は通知葉書を持参。料金は全額市負担(3500円)②対象者35・40・50・60・65歳へ個人通知③実施期間6~12月

【業務の流れ】
 ・市内歯科医院との契約、必要書類を渡す。対象者への個人通知のほか、広報誌に掲載しPR。受診後、医療機関への支払い事務、検診データの整理及び入力。

【主な予算費目】
 1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		
① 手段(主な活動)	20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO)	21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN)
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか)
⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位)	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位)	⑦ 成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位)
⑧ 上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位)		

(2) 総事業費・指標等の推移										
投入量	事業費	単位	18年度実績(決算)	19年度実績(決算)	20年度目標(当初予算)	20年度実績(決算)	21年度目標(当初予算)	22年度(目標)	23年度(予定)	全体計画(単位)
	国庫支出金	千円								総トータルコスト
	都道府県支出金	千円								～
	地方債	千円								年度
	その他	千円								
	繰入金	千円								
	一般財源	千円	1,158	1,011	1,165	1,130	1,165	1,165	1,165	
	(A) 事業費計	千円	1,158	1,011	1,165	1,130	1,165	1,165	1,165	0
	うち指定経費	千円								
	うち時間外、特殊勤務手当	千円								
人件費	人	1	1	1	2	1	1	1		
正規職員従事人数	人									
延べ業務時間	時間	330	330	330	260	330	330	330		
(B)人件費計	千円	1,310	1,313	1,313	1,035	1,313	1,313	1,313	0	
トータルコスト(A)+(B)	千円	2,468	2,324	2,478	2,165	2,478	2,478	2,478	0	
活動指標	人	178	217	234	245	255	265	275	234	
対象指標	人	2205	3366	3622	3622	3709	3622	3622	3622	
成果指標	%	8.08	6.45	6	6.76	6.88	7.32	7.59	7.32	
上位成果指標	%	38.9	36.9	45	31.4	49	55		55	

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?
 歯科保健連絡会議で歯科医より歯周疾患検診を実施していく必要性を指摘され、旧合志町の頃より実施。その後、国の老人保健事業メニューの中に歯周疾患検診ができたため、旧合志町・西合志町で実施していた。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
 対象の低年齢化がみられる。歯周疾患の増加がみられる。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
 市内歯科医より、周知方法・検診方法を見直しながら、継続していく必要性があると言われている。

事務事業名	歯周疾患検診	所属部	健康福祉部	所属課	健康づくり推進課
-------	--------	-----	-------	-----	----------

2 評価の部(SEE) *原則は20年度の事後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ 意図の「むし歯・歯周疾患の早期発見ができる。」ことにより結果の「病気の早期発見ができる。」ことに結びつく。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ むし歯・歯周疾患を早期に発見することで医療費を削減することができるので妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ 対象意図とも現状で適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】↷ 受診率を向上していくことで成果の向上余地がある。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】↷ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】↷ 検診の機会をなくすことにより、歯科疾患による影響が出現し医療費の増加につながる。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ 類似事業なし <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】↷
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 専門的知識と技術を要するため委託して実施している。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 契約方法、支払い事務等最低限の職員で実施している。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ 各年代での検診機会を設けているが、検診料金は無料となっている。受益者負担を検討していく余地はある。

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	②有効性については、受診率を向上していくことで成果の向上余地がある。④各年代での検診機会を設けているが、検診料金は無料となっている。受益者負担を検討していく余地はある

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) 受診率を向上していく。検診料金の自己負担割合を検討していく。	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上			○	維持					低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上			○																			
	維持																						
	低下																						

(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 受診率を向上するために検診の必要性をどのように周知していくかという課題がある。検診料金の自己負担については、方向性を検討していく。
--

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1) 目的の直結度	2	(直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9)
(2) 貢献度	5	(貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12)